

秋田県では48名が

# 生活保護基準引き下げ違憲訴訟 愛知で不当判決！

「生活保護引き下げは憲法25条に違反するとして」全国30カ所、1025名が提訴している生活保護違憲訴訟に対する最初の判決が6月25日、愛知県名古屋地裁からなされました。判決は原告の訴えを「棄却」する不当な判決です。原告は直ちに控訴手続きに入りました。

**秋田県48名提訴**

秋田地裁に提訴、これまで28回の口頭弁論が開かれています。厚生労働省は2008年から3年間で4.78%もの物価下落があったとして「デフレ調整」するため生活扶助基準を引き下げたとされていますが、引き下げを決める生活保護基準部会の検証も一切せず、厚生労働省が独断で「生活扶助相当CPI（消費者物価指数）」という全く独自の計算方式をつくりだして行ったものです。

名古屋地裁では生活保護基準部会委員長代理の岩田正美教授も原告側証人となり、「議論もしていないのでデフレ調整を容認して

ない」と証言、さらに統計学の上藤教授や白井康彦中日新聞記者等は「デフレ調整は、生活保護世帯の消費実態とかけ離れたウエイト（購入割合）を前提に計算されている。物価下落率は国際基準を外れた計算方式」など「厚生労働省の引き下げは「物価統計偽装」であると指摘していました。（同封「いのちのとりで裁判全国アクション」チラシ参照）

判決で名古屋地裁の角谷昌毅裁判長は

**「判断が不合理とは言えない」として原告の訴えことごとく否定**

①憲法25条の「健康で文化的な最低限度の生活」は具体的な水準が変動し得ることを予定しており、生活保護制度の後退を禁じていない。

②物価下落を反映した

などその役割を果たしています。感染者の増加で都市部では重傷者の入院ベッドが不足するなど、医療崩壊の危険がせまる事態となりました。感染拡大が今また懸念される中、公立・公的病院の再編・統合はありえませんが、直ちに見直すよう国に働きかけていたください」と要請しました。

**★連絡会**

イージスのようにきつぱり撤回を！  
効率や採算だけで病院の再編・統合は誤り！

また、要請参加者からは「病院再編統合はイージスのようにきつぱり撤回してほしい、

怒りの声明

全生連会長代行 吉田松雄氏は次のような「怒りの声明」を発表しました。生活保護基準引き下げは、安倍・自民党の「1割削減」選挙公約を履行するために、「物価下落」「歪み調整」などとするデータをねつ造・偽装し、保護利用者の声を聴かずに強行されました。生活保護利用者は、食費、入浴、衣料費、交際費の支出を減らし、

「生きるのがやっと」の生活を強いられており、一日でも早く生存権を回復することが求められています。コロナ感染は、低所得者ほど犠牲者が多数となり、日本の社会保障が脆弱なことを浮き彫りにしました。これから全国

憲法学者の木村草太都立大学教授は、判決は法律も文言も無視しているとして「法治国家の放棄」と強く批判した上で、「人が、最低限度の生活を営んでいるかどうかは、一部の人が抱く生活保護受給者への反感や、国の財政状況によって決まる事柄ではありません。裁判所には、国が、適切な資料・根拠に基づき、合理的な判断を

「法治国家の放棄」と批判

木村草太教授

憲法学者の木村草太都立大学教授は、判決は法律も文言も無視しているとして「法治国家の放棄」と強く批判した上で、「人が、最低限度の生活を営んでいるかどうかは、一部の人が抱く生活保護受給者への反感や、国の財政状況によって決まる事柄ではありません。裁判所には、国が、適切な資料・根拠に基づき、合理的な判断を

6月26日

地域医療を守る共同行動秋田連絡会 県知事へ要請

# コロナ感染が続く中、医療崩壊を防ぐため 公立・公的病院再編・統合は見直しを！



佐々木薫県健康福祉部長に要請書を手渡す県社保協佐竹事務局長

**★連絡会**

医療崩壊防ぐため病院の再編・統合は直ちに見直しを

要請で県社保協の佐竹事務局長は「湖東厚生病院をはじめとする秋田の5病院の再編統合の見直しを求める国

への意見書は、県内25すべての市町村議会と県議会で可決されました。地域医療に欠かせないとの地域住民の強い思いが示された結果です。コロナ感染治療でも多くの公立・公的病院は感染病床をかせ、さらに積極的にコロナ患者を受け入れる

などその役割を果たしています。感染者の増加で都市部では重傷者の入院ベッドが不足するなど、医療崩壊の危険がせまる事態となりました。感染拡大が今また懸念される中、公立・公的病院の再編・統合はありえませんが、直ちに見直すよう国に働きかけていたください」と要請しました。

**★県健康福祉部長**

「コロナの感染ふまえると地域医療構想の見直しも必要」と回答

佐々木薫県健康福祉部長は「地域医療構想は地域で必要な医療を確保していくためのもの。これまでに感染症病床等については地域医療調整会議の中では議論してこなかった。国が

ら議論の方向は示されていないが、調整会議が再開されれば感染症病床についてどうするのか最初に議論することになると思う」と見直しが必要との認識が示されました。

- 秋田県で名指しされた5病院**
- 大館市立扇田病院
  - 独立行政法人地域機能推進機構秋田病院
  - 湖東厚生病院
  - 横手市立大森病院
  - 羽後町立羽後病院